

平成 25 年度 東京都内湾水生生物調査 8 月稚魚調査 速報

●実施状況

平成 25 年 8 月 8 日に稚魚調査を実施した。天気は晴のち曇で、気温 30.8~33.4℃、北東のち南の風 1.1~4.3m/s で海は静穏だった。当日は大潮で、11 時 55 分干潮、18 時 12 分満潮だった(東京都港湾局のデータ)。各地点の概況を下表に示す。

調査の結果、各調査地点において初夏~夏季に産卵期を迎えた魚類の稚魚が多く確認された。葛西人工渚では 6 月調査時同様、大量(5kg 以上)のニホンイサザアミが確認された。

2013/8/8	葛西人工渚	お台場海浜公園	城南大橋
作業時刻	13:00-14:00	9:30-10:30	11:00-11:50
水温(℃)	30.9	29.2	29.3
塩分	3.2	21.8	17.4
透視度(cm)	28	64	32
D0(mg/L)	6.6	8.2	11.7
D0 飽和度(%)	94.1	126.8	177.7
波浪(m)	0.3	<0.1	<0.1
pH	7.9	8.2	8.2
水の臭気	無臭	下水臭(微)	下水臭(微)
備考	干潟の砂表面に藻類が繁殖していた。		赤潮気味であった。

●主な出現種等(速報なので、種名等は未確定です)

主な出現種等	葛西人工渚	お台場海浜公園	城南大橋
魚種 (多い順 ^注)	ギマ(c)	トウゴロウイワシ(m)	ヒイラギ(m)
	シログチ(c)	マハゼ(c)	ギマ(+)
	サッパ(c)	ヒメハゼ(+)	マハゼ(+)
	ハゼ科(c)	ヨウジウオ(+)	シロギス(r)
	ギマ(+)		コチ(r)
魚類以外	ニホンイサザアミ(G)	アサリ(c)	タカノケフサイソガニ(r)
	エビジャコ属(c)	アラムシロガイ(r)	
備考	ニホンイサザアミの重量は約 5,100g であった。	マハゼは、城南大橋より小型のものが多かった。	上記のほか、イソギンポ科の稚魚も捕獲された。

注) 表中の()内の記号はだまかな個体数を表す。

G:1000 個体以上、m:100~1000 個体未満、c:20~100 個体未満、+:5-20 個体未満、r:5 個体未満

葛西人工渚 採取試料



調査地の様子



地曳網調査の様子

確認魚

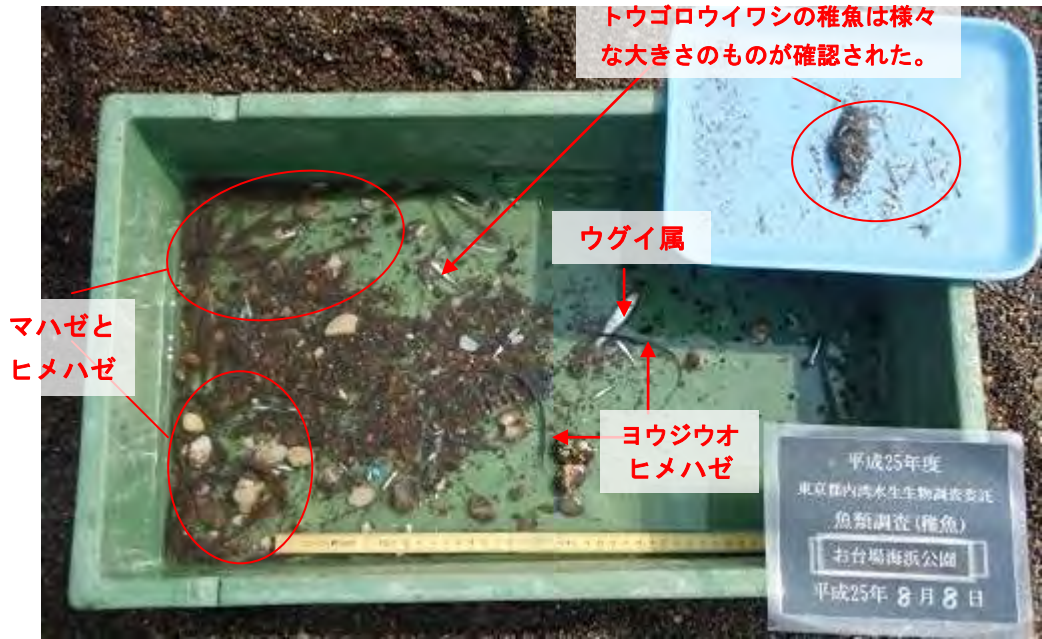


東京湾をはじめ、全国の内湾や汽水域に生息するニシンと近縁の小型魚で、産卵期は6月から9月。6月調査と比較して約2倍に成長していた。



東京湾の砂泥底に多く生息し、産卵期は6月から7月である。水産有用種でかまぼこ等の練製品の原料となる。夏季に稚魚が沿岸の浅場に出現する。

お台場海浜公園 採取試料



調査地の様子



地曳網調査の様子

確認魚

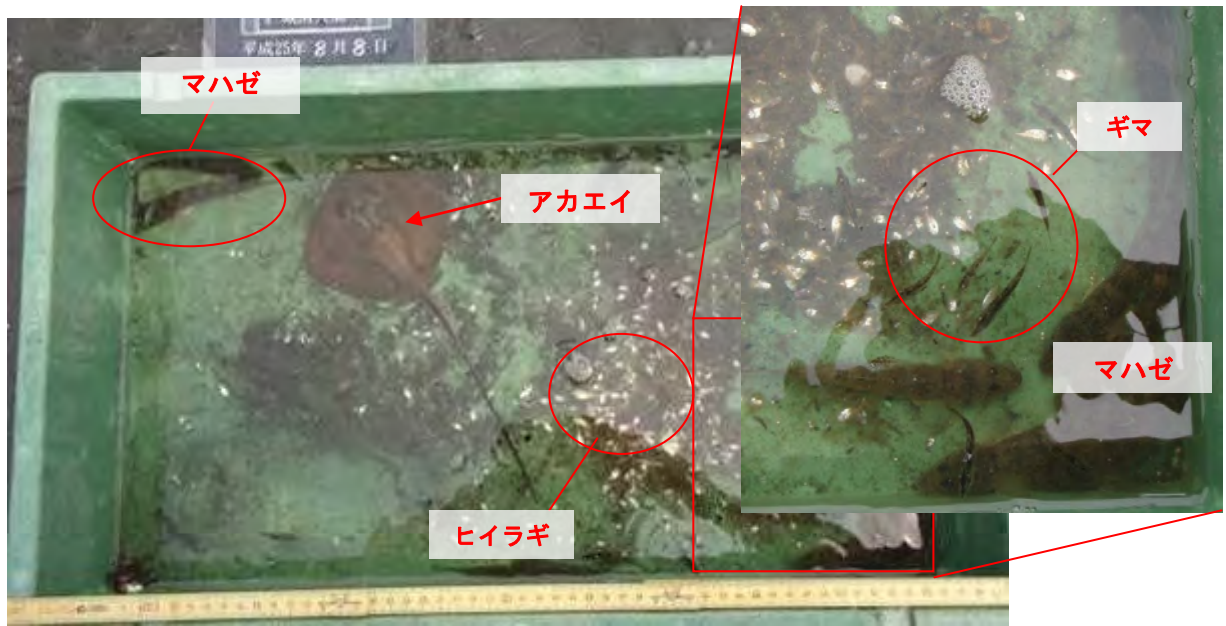


東京内湾域の主に干潟域に生息する。ツツオトシゴと近縁で、卵ではなく仔魚を産む。昨年度は未確認であったが、経年的にしばしば確認される。



成魚は主に相模湾以西の南日本の沿岸に生息しているが、近年東京都内湾域でしばしば確認される。トウゴロウイワシ目に属し、動物プランクトン食性で、成魚は干潟よりも岩礁帯に依存する傾向がある。

城南大橋 採取試料



調査地の様子



地曳網調査の様子

確認魚



東京内湾の河口域の砂泥底に多く生息する。伸縮性のある口で、主に底生動物を捕食する。昨産卵期は5~7月で、稚魚は8~9月に沿岸域で確認される。



フグ目ギマ科に属しカワハギと近縁である。産卵期は6~8月で、東京湾では3年前に多く確認され、その後減少していたが、今年は回復傾向にあるようである。